

明日に 向かって

Vol.24

2009年7月発行

明日に向かって
多治見陶都ライオンズクラブ
広 報 誌



多治見陶都ライオンズクラブ

◆事務局

〒507-0071 多治見市旭ヶ丘10-6-33

美濃桜卸センター会館2F

TEL(0572)20-2366 FAX(0572)20-2367

●地区スローガン

「一致団結」地球に・人に・そして未来のために We Serve

●クラブスローガン

輝かしい未来に向かって We Serve



2008～2009年度さよなら例会 2009年6月19日 小牧市【ざうお】



2009～2010年度多治見陶都ライオンズクラブ会長
L・伊藤孝司

新年度を迎えて！ 会長挨拶

『10月8日の奇縁』

昭和57年10月8日。私の歯科医院の開院記念日であります。開院の準備が整い、何時始めるかと言うことになり、兎に角10月初旬の大安の日を選ぼうということで、深く考えもせず、10月8日に決めました。後でわかったとなのですが、入れ歯の日（108から）で、ライオンズクラブの誕生日と一緒に偶然に奇妙な因縁を感じました。昭和25年上矢作で生まれ、小学6年の時単身大阪の学校に転校し浪人生活まで過ごしました。その後、工学部に進学しましたが医学の道があきらめきれずに退学し、医学部が無理なので歯学部の道を選びました。その後3年ほど渋谷の歯科医院に勤務し都会生活を謳歌し、多治見の地で開業することになりましたが、知り合いが殆どいない状態でさみしいものでした。そんな時多治見青年会議所（ここも誕生日が10月8日）に入らないかと声がかかり飛びつきました。そしてJCと一緒に卒業したK・Kライオンが“マージャンメンバーが足りないから入れよ”とライオンズに誘っていただきました。そんな、人にも言えない恥ずかしい動機で入会した私が会長を引き受けても良いものかと、私にしては珍しく深く悩みました。そんな不出来な私であるがゆえに皆様のご意見をしっかり聞き、ライオンズの原点に立ち返ってよく勉強し、一年間を駆けてゆこうと思います。ご指導・ご鞭撻・ご協力の程宜しくお願い申し上げます。又、キャビネットに送った会長方針も添えさせていただきましたのでご一読ください。

1. クラブ会長方針

スローガン：輝かしい未来に向かってWe Serve

活動方針：奉仕の心を一つにし、未来を担う若人に、輝かしい未来を創造する。

上記スローガンと活動方針に則って、ライオンズの原点である奉仕の心に立ち返って活動する。近年ライオンズ活動は原点である奉仕の精神から微妙なずれを生じてきているように思われる。そのことを十分に検証しながら、ただすところは正し、推し進めるところはしっかりと推進する。

2. 環境保全問題関連

長年にわたっての環境問題作文コンクールは、肥大化したことと、環境教育の充実により役目を終えたと判断し中止するが、今までに残された作文と効果を何らかの形で検証し、未来の環境教育の方向性を定め、ライオンズ活動としてどのような形で携わっていくかを決定する。

3. 会員増強・MERL関連

今日に時代背景からすると困難ではあるが、奉仕の素晴らしさを啓蒙し、その精神をよく理解していただき、活動に積極的に参加する人材を発掘する。会員増強の美名のもとの拡大は厳に戒める。

4. ライオンズクエスト・青少年健全育成推進関連

ライオンズクエストの活動に関しては当クラブとしては十分に理解しているとは言い難く、活動の意義と意味をメンバーに周知徹底するための活動から始める。青少年育成に関しては、環境問題作文コンクールを終えるにあたり、代替事業を教育委員会等教育関係者ともよく協議し検討し、活動方針の中心として積極的に進める。

5. YCE関連

本年度はホームステイの受け入れがありますが、日本文化をよく理解して戴くためのプログラムを検討し、日本の素晴らしさをアピールする。

6. 四献活動・LCIF関連

四献活動・LCIFに関しては、当クラブとして積極的に関わってこなかったのではないかと思います。なぜそうなったのかの原因を検証し、必要性を協議し、柔軟に尚且つ積極的に対応する。上記活動に関して、原則として先ずライオンズの奉仕の精神の位置づけをしっかりと確認し、よく理解し、協議し、積極的に活動に反映させていきたいと思いません。

新年度役員挨拶



2009～2010年度
多治見陶都ライオンズクラブ
幹事

L. 兼松伸一

次年度事業について 幹事挨拶

伊藤会長より幹事の要請を受けてから数ヶ月が経ち、自分なりに我がクラブの継続事業やゾーン、リジョン、キャビネットの事業について考えてみました。ライオンズって本当はどんな事業をすれば良いのか。理屈では分かってもいざ行動しようとするとうちに流してしまう。こんな袋小路に入り込んでいないか。又、他の奉仕団体と何が違うのか。幹事の立場ながら迷いも多く委員長さんに事業計画等を立てていただく際など、相談に対して的確なアドバイスが伝えられるか心配でございました。

悩みはございますが、今年新しい継続事業を見つける大事な年、また、既存会員は元より新入会員に魅力あるクラブにする1年と考えております。甚だ微力ながら執行部の一員として精一杯頑張りますので皆様のご協力をお願い申し上げます。

新年度役員挨拶



2009～2010年度
多治見陶都ライオンズクラブ
会計

L. 大嶽利彰

会計挨拶

昨年ライオンズクラブの例会後、楽しくて仕方がない仲間と、ウィサーブ・・・家に帰って、階段からドタンバタンと落下・・・

本年度会計を伊藤会長より指名をいただいているのに、一番大切な予定者委員会も出席出来ず、病院通い。大変ご迷惑をおかけしました。

この原稿が印刷される時には、完全復活です。

遅れた分を取り戻すべく努力をさせていただきます。

私はライオンズを会社とは違い、自分の与えられた役を的確にやり遂げるトレーニングの場と考えています。

会計職、はなはだ苦手な職務ですが、加藤彰久副会計と二人三脚で、コツコツと一歩ずつと考えています。何卒、宜しくお願いします。

新 入 会 員 紹 介

新入会挨拶



この度、東濃信用金庫広小路支店長として、多治見陶都ライオンズクラブに入会させて頂きました伊藤隆です。

多治見市の白山町で生まれ、池田で育ち、希望ヶ丘に移り住んで13年、生粋の多治見人です。

最近読んだ稲盛和夫の「働き方」(三笠書房)という本の中に、「正しい考え方」として次のような一文がありました。

「つねに前向きで、建設的であること。みんなと一緒に仕事をしようとする協調性を持っていること。明るい思いを抱いていること。肯定的であること。善意に満ちていること。思いやりがあって、優しいこと。真面目で、正直で、謙虚で、努力家であること。利己的ではなく、強欲ではないこと。「足るを知る」心を持っていること。そして、感謝の心を持っていること。」

まさに、ライオンズクラブの精神に通じる言葉だと感じました。

このような「考え方」で、自分の仕事やライオンズクラブの活動に携わっていければと思っています。

今後とも、会員の皆様のご指導宜しく願いいたします。

多治見陶都ライオンズクラブ L.伊藤 隆



創業魂 新入会挨拶



「ジャストライフ」…私が2005年に立ち上げた会社、複数の保険会社を同時に取り扱うことが可能な保険の代理店です。現在の取り扱い保険会社数は22社。お客様に、より有利な商品を選択、設計、提案、販売が出来る業務形態です。

まだ社歴が浅く若い会社ではありますが、今日に至るまでの道のりで印象深い出来事、「創業」について記したいと思います。

創業、今思えば、それまで一企業の保険営業にすぎなかった自分が人生を賭けた決断の時です。現在の私を知る人達の多くは、私を野心家だと思っています。会社を持ちたかったんだろう、社長になりたかったんだろう、お金儲けをしたかったんだろう、こんな目で私を見ている気がします。しかし、自分では野心家と思っていませんし、実際の創業のきっかけは全く違ったものです。

創業直前の営業マン時代、私は一社専属の営業スタイルに限界を感じていました。

他社の商品研究をすればするほど、知識を持てば持つほど、本当のいいものを販売したい、嘘はつきたくない、目の前の私を信じているお客様に嘘をついてまで販売したくない。「他社の〇〇という商品に加入した方が有利です。」私は知らぬ間にこう言っていました。

起業したかった…創業したかった…正しくは自分らしく嘘を付かず真っ直ぐに生きていく為に、創業せざる得なかった…です。

私にとって創業魂は正直に販売しようとする顧客への情熱から生まれたものです。

顧客への情熱を失った時、それは魂を失った時であるともいえます。

財務諸表論上、永続企業という言葉があります。企業は永遠に継続することを前提に存在しているのです。我が社にとっての魂…それは顧客への情熱です。情熱を忘れないことが、魂を失わないこと、企業の継続であると思って毎日を懸命に生きている私です。

多治見陶都ライオンズクラブ L.渡辺 敬史

一年を振り返り…【前年度執行部挨拶】

前年度役員挨拶



2008～2009年度
多治見陶都ライオンズクラブ
会長

L. 渡辺 勝次

前会長挨拶

多治見陶都ライオンズの会長の大役を仰せつかりまして、早いもので、一年が過ぎようと致しております。

皆様の温かいご支援やご協力を頂きましてつつがなくこの責務を果たすことが出来ました事を心から感謝申し上げます。

本当にありがとうございました。

百年に一度の大不況の中、会長として出航をしましたが新聞を見れば倒産の記事、今どこのクラブも、会員の減少に悩んでいます。私たちクラブも会員増強と奉仕を基にスローガンは「ウィサーブの第1歩は例会出席、汗を出して奉仕しよう」と私達、奉仕団体の一員として、今年は大原川の清掃、そして継続事業で虎溪公園のサクラ再生を行いました。

又、今年度は、地区ガバナー L.松尾精介の基本方針で、ライオンズクエスト：薬物乱用防止を学校や教育委員会と会員の皆様の協力により人材育成につながっていく勉強会にも出席をしました。

多治見での地区年次大会には微力ではありましたがお手伝いをさせていただきホストクラブとして大成功だったかと思いました。

力不足の会長でしたが、1年間ご協力ありがとうございました。

新年度会長、伊藤孝司ライオンのご活躍を祈念いたしまして、本年度お世話になりました皆様方に改めて心から感謝申し上げます。

前年度役員挨拶



2008～2009年度
多治見陶都ライオンズクラブ
幹事

L. 館林 重寛

前幹事挨拶

一年間お世話になりました！

会員の皆様の友愛あふれるご支援ご協力をおもちまして、1年間何とか月日だけは過ぎてきました。今年も継続事業である環境問題作文コンクール・虎溪山の桜再生事業・応急手当普及員指導者講習会、又本年のスローガンの“汗を流して社会奉仕活動をしよう！”に乗っ取って大原川の清掃活動等と会員の皆さんのご協力のお陰で何とか出来ました。

また地区年次大会に於いてはこれまた皆様のご支援ご協力を頂きましてつつがなく済ませる事が出来ました。心より御礼申し上げます。

家族会員・ライオンクエスト（ワークショップ等）・派遣費用等、来年度に持ち越し問題が沢山ありますが、ご容赦の程宜しくお願い致します。長い様で、短い様で、どちらとも分からない一年間でしたけれど、会員の皆様とそして理事の皆様の一年間のご協力に感謝し、来年度のL伊藤孝司新会長に期待し、エールを送りたいと思います。

前年度役員挨拶



2008～2009年度
多治見陶都ライオンズクラブ
会計

L. 井戸 徳明

前会計挨拶

「ウィ・サーブ」の第1歩は例会出席 汗を出して奉仕しよう!」のクラブスローガンのもと、会員の皆様方には1年間大変お世話になりました。

まさかお声を掛けて頂けるとは思っていませんでした「会計」という重職に戸惑いながらも、「役員必携」と「決算書・予算書」をたよりに、渡辺会長・館林幹事のお二人にご指導・ご助言をいただきながら、なんとか1年間、会計職を全うすることが出来ました。

本当にライオンズクラブの活動に関して勉強不足を痛感いたしました。この1年間を過ごして、少し分かってきたかな?と感じております。この経験を生かし、今後のライオンズ活動をがんばっていきたいと思います。今後とも、ご指導・ご鞭撻の程よろしくお願いたします。

本年度の主な行事 《100%出席をめざして頑張りましょう!!》

- 7月 総会
- 8月 ZC公式訪問
- 8月 ガバナー公式訪問
- 10月 移動例会
- 12月 忘年移動例会
- 2月 チャーターナイト例会
- 4月 花見例会
- 6月 さよなら例会



編集後記

1年というのは早いもので、渡辺丸出向の際には、年1.5回発行（合併号のほか、単年号を1回）を計画しておりましたが、あっという間に1年が過ぎ、今回も合併号としての発行になってしまいました。

各アクティビティの報告紙面がもてなかった事をお詫び申し上げますと共に、24号発行に際しご協力いただいた皆様に心より感謝いたします。ありがとうございました。

2008～2009 PR委員会